

那覇市繁多川公民館と里親の方で 取り組むキバナノヒメユリ保全活動

発表者 那覇市繁多川公民館

館長 南 信乃介

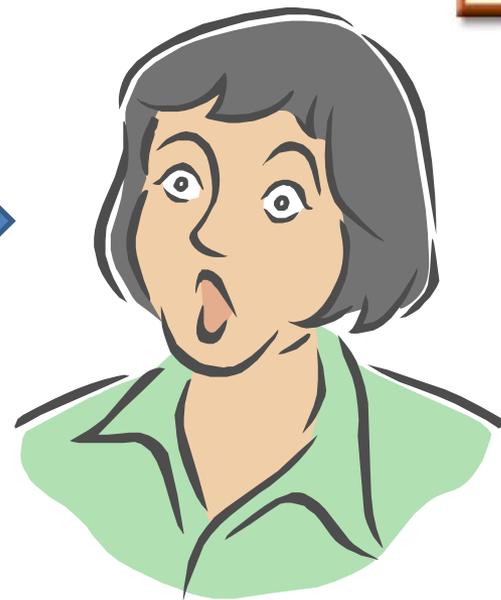
(指定管理者:NPO法人1万人井戸端会議)

ずっとここにいたよ！ ～キバナノヒメユリ物語～



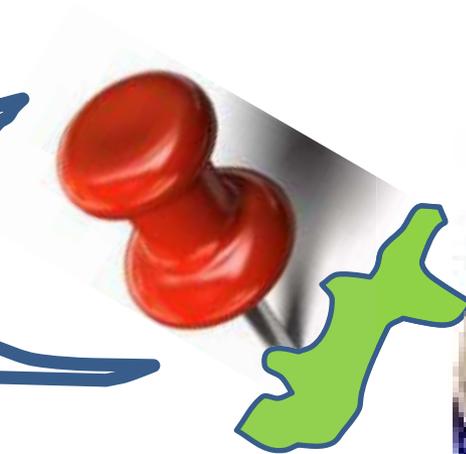


繁多川公民館

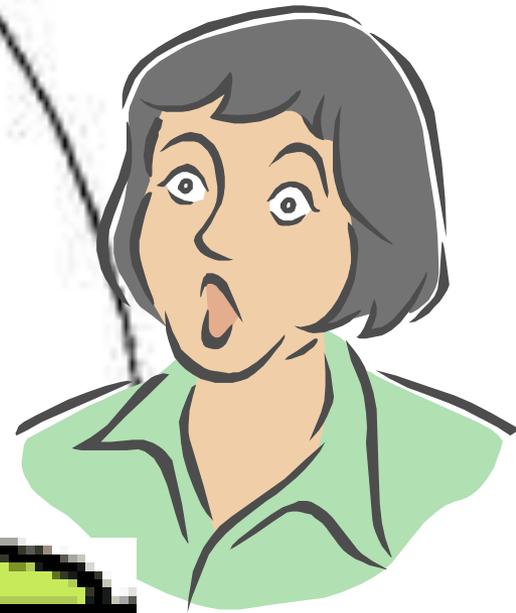




絶滅危惧種！？



300万年前か
ら！？





雨にも負けず
風にも負けず
開発からも逃れ
森にもならなかった。

守ってくれたのは、チ
ガヤとたくさんの生き
物たち。

ずっとここにいたんだ。





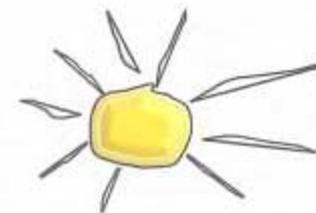


地域によって遺伝的特性！！那覇是那覇の自生地を大切に！



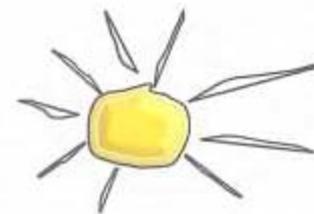


黄色い花 小さな花
キバナノヒメユリ
永年ここに咲いて
君を待っていた
黄色い花 やさしい花
幸せの花



歌詞が生まれた・・・



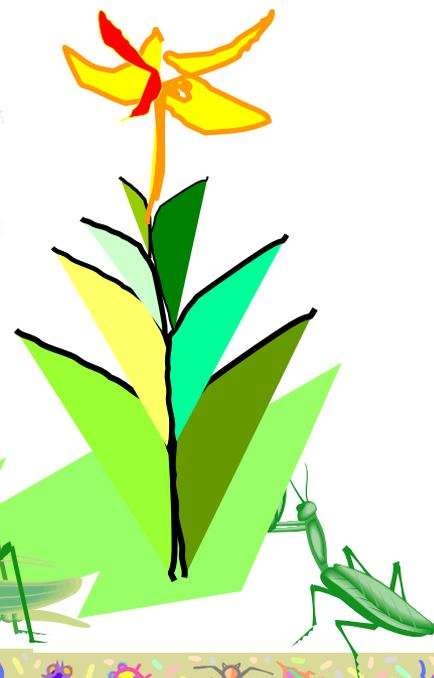


曲が生まれた・・・



ずっとここにいたよ！

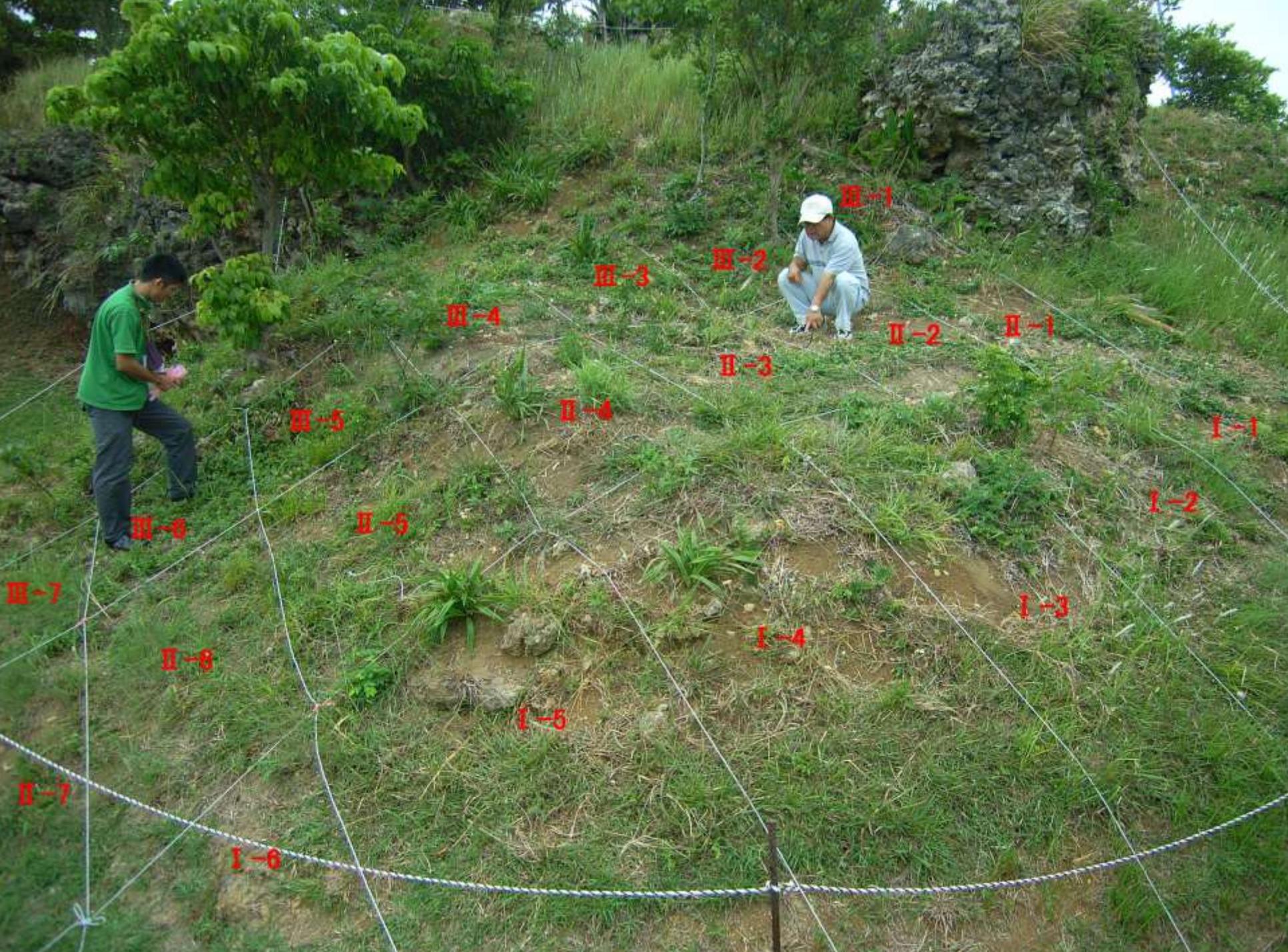
～キバナノヒメユリ物語～











III-1

III-2

III-3

III-4

II-2

II-1

II-3

II-4

III-5

I-1

I-2

III-6

II-5

I-3

III-7

II-6

I-4

I-5

II-7

I-6

里親ママになりませんか？



いつも公民館活動にご参加いただきありがとうございます。これまで講座「身近な自然に親しむ」では、公園の散策や、地元の成り立ちなど楽しみながら自然学習を行ってきました。この度、近隣自生地のキバナノヒメユリ保護・教育的活用のためこの貴重な里親に出す事に決まりました。楽しみながらキバナノヒメユリ(絶滅危惧種ⅠA)を見守ってくれる方を募集します。尚、自生地監視保護を兼ねてこれまでの受講者および教育関係者、近隣自治会のみの方といたしますのでご協力よろしくお願いいたします。

記、

- 1 日時：3月10日(木) 9:00~11:00 (配布・管理説明など)
- 2 場所：那多川公民館 実習室
- 3 参加費：無料
- 4 連絡先：那多川公民館 TEL.821-3446



自生地を含む環境を地域住民と学び・交流した。
参加者の中から里親を募集。

身近な自然に親しむ

主催：那覇市繁多川公民館
協力：那覇市環境保全課
(株) 沖縄環境研究所

あなた達の住む街に、どんな自然がありますか？
いつもとはちよっと違う視点で、自然を見てみよう！

内容

- ・自然と環境とは？
- ・中部農林高校生が語る
- ・全体的な環境の保護の重要性
- ・観音の重要種の生き守りの話

新城和治プロフィール
元琉球大学数理学部教授
在籍中に多くの論文を発表し沖縄の動植物の研究に尽力。
昭和48年から那覇市の文化財調査審議委員を務め酒蔵の危機にあった「ガーナ森」のナハキハク(天然記念物)の保護に尽力。H13沖縄県文化財財団、H14那覇市政功労賞受賞

中部農林高校
日本学校農業クラブ全国大会「優秀賞」
テーマ 沖縄の野生ランの研究パートV～野生ラン研究の軌跡～

期日：平成21年2月21日(土) 午後2時～4時
場所：那覇市繁多川公民館 2階研修室
対象：那覇市在住 在勤 在学 興味のある方
受講料：無料
定員：40人
申し込み方法：直接来館か電話で申し込み。2月12日(木)～19日(木) 9:00～17:00
但し土曜日は、15:30まで。日曜日は受付無し。申し込み多数の場合は抽選

那覇市繁多川公民館 891-3448

身近な自然に親しむ

公園から見る守国郡の植生と人々の暮らし

ニュースレター

共催：那覇市環境保全課 沖縄環境研究所

● 那覇市 繁多川 公民館

平成21年度 成人祭 開催

去った、八月二十九日(土)に那覇市繁多川公民館の隣区「身近な自然に親しむ」で地味の方々二十名で公園を探索した。

普段「何気なく利用する地蔵の公園であるが、改めて足元に向け、植生を中心に見察した。なおさきほどは、感のにおいのする植生へウリカスリ。身を揺らせば白い葉の裏、シロカシラ。そして原野を見送せる情景。

● 公園に接する貴重な植生や海岸性の植生など、里親生とともに楽しい発見をした。

公園は、昔、海だった

案内：沖縄環境研究所 上原 孝哉
那覇市環境保全課 徳政
担当：神岡 徳正

「公園を昔の中園集は、昔、狭い海だった。地内してくれた海防の方々からその跡を聞いて来た。」

● 公園に存在する海岸性植生は、その頃の中心部で採集されたと思えるのであるが、薄ぼけられたまっくらと想像を掻いた時間を送ったのだろう。

海であったもう一つの証は、植生として海岸の植物たちを垣間見ることが出来る。その中でも、

「この海だったとはるか昔から、ひっそりと生きてきた」を数百年の歴史が語りかけた。

「この海だったとはるか昔から、ひっそりと生きてきた」を数百年の歴史が語りかけた。

快進に乗せられるように整備の進んだ昨今、● 公園のような沖縄在来の植生が残る場所は、少ないという。数株やワンダコルフ、地蔵の隣の公園に里親生は、もうひとつの楽しみを見つけたよだった。

繁多川公民館では、地蔵の方々や公園利用者とともに● 公園についての植生調査を実施しています。お問い合わせは繁多川公民館まで。

那覇市繁多川公民館 098-891-3448



太陽とキバナノヒメユリのタベ



沖縄県RDB:絶滅危惧 I A類 環境省RD
絶滅危惧 I A類
絶滅危惧 I A類

オリジナルソング里親作詞・中学校教諭作曲



「H20 那覇市豊原1山公民館公民館管理委員会主催」

ティータ
**太陽と
キバナノヒメユリの
タベ**

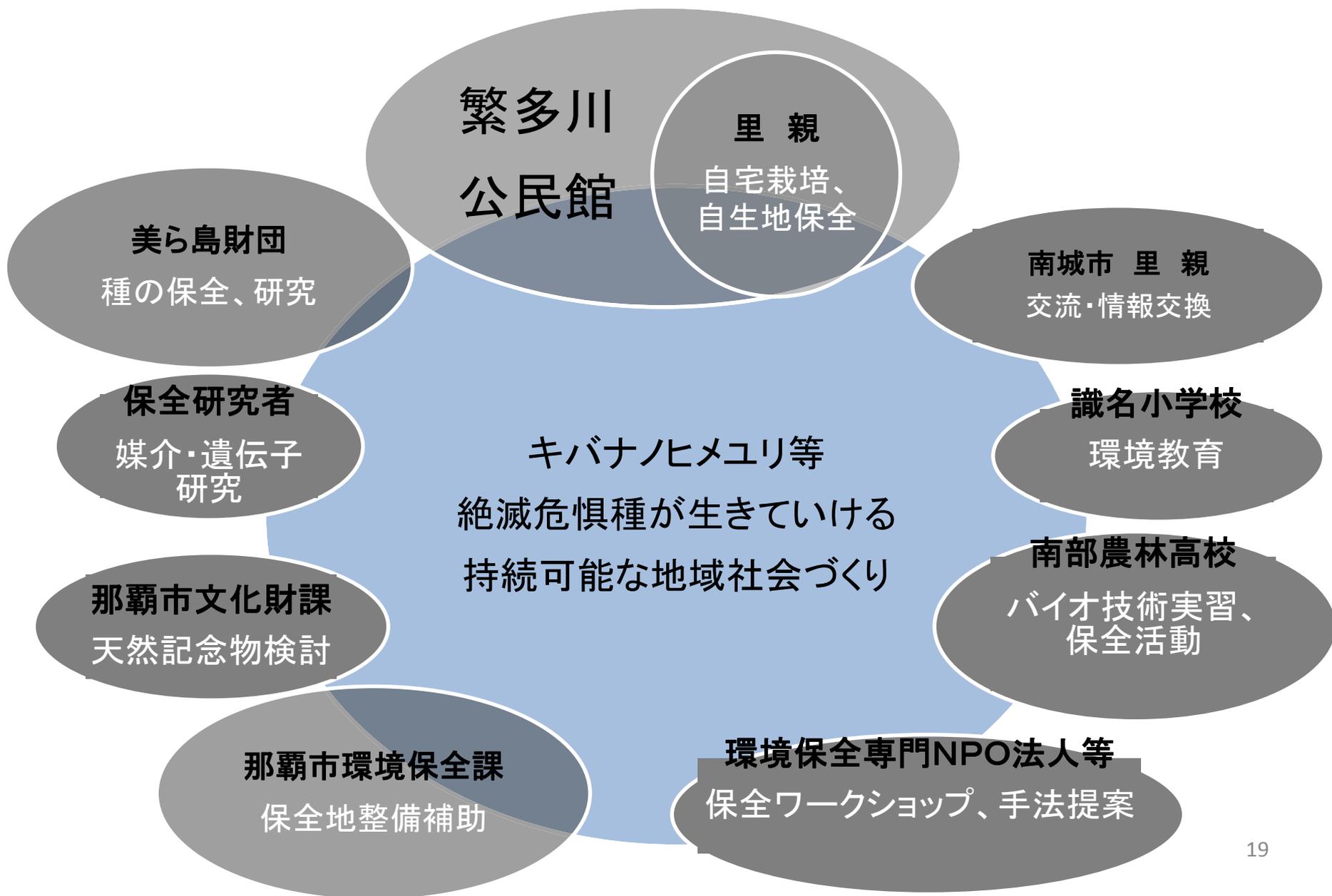
参加無料
申込不要
—7月26日(月)—

ひにち：8月22日 18時～19時30分
ばしょ：はなたがわ公民館 屋上
さかく：キバナノヒメユリ根絶プロジェクト

- ◆紙芝居「キバナノヒメユリ物語」
絶滅危惧種キバナノヒメユリは1年～1月に咲きます。ひよつとたつてはみか根がのびて見られるかにもよります。
- ◆地域伝承
「シメツクシ」の伝説
「恋の物語」識名坂「道念火」
豊多川に伝わる物語を題材に、里親の心を伝えます。
- ◆識名町の歴史
豊多川に伝わる歴史を題材に、里親の心を伝えます。

主催・問合せ 那覇市豊多川公民館 917-3448 (平日9時～17時) 開催場所はあります。

連携図



自生地地域の交流バスツアー



近隣小学校の環境学習



保全に向けたワークショップ

